

令和2年2月10日(月)

甲子園への道 その5

さしあたって、選抜旗を高野連から頂くための披露の集会を開くことになりました。あわせて、IWAKIの人文字を校庭で作り、毎日新聞社が航空写真を撮るといことなので実行するつもりです。さらには、第92回選抜甲子園大会への壮行会もその日に行ってまいります。

今のところ、今週の金曜日の5,6時間目をその集会和写真撮影に充てていく予定です。雨等がありましたら、延期もあります。

13日の木曜日の午後5時にはいわき市役所に表敬訪問です。1階のロビーで市役所の方々に壮行会を行っていただく予定です。

26日に県知事と教育庁への表敬訪問です。併せて、各新聞社やテレビ局にもあいさつに参ります。

また、今後関西へも出向きまして、事前対応を予定しています。関西県人会や関西同窓会にあいさつに伺い、様々なご尽力に対して御礼を申し上げてまいります。

この間に、応援部隊の体制も固まっていくと考えます。応援団の構成と吹奏楽のコラボ、学校の在校生・卒業生・保護者の移動方法や旅費、応援の展開における演奏曲の打ち合わせ、効果の披露方法、アルプススタンドでの応援方法等、様々な角度から考えていかなければならないと思います。

また、ウインドブレーカーと帽子やタオル、メガホン等をどう準備してどのように配布するかなども併せて考慮してまいります。

春の大会でこんなに苦労するので、さぞや夏の甲子園の場合は、てんてこまいになることが想像されます。今後、そのような場合も想定して、組織の作り方やチームの動き、現地事務局の設営等にも配慮し、電子データ化して管理できるように進めております。

何分、大切なのはどんな時でも人の配置と人の動きの管理であることは間違いないと思います。様々な点での配慮を忘れず、大きなエポックメイキングになることを踏まえ、団体等との連携を密にして進める覚悟です。

日本全国から同窓生が集い、老いも若きも磐城高校の旗のもとに一つとなり、全員で校歌を歌うことができることを願ってやみません。特に、平成16年3月卒業から男女共学化した時代背景をもって、新しき同窓の方々との甲子園の共有ができることを何よりも楽しみにしております。

当時の卒業生は、私も直接教えていたので、どうぞ声をかけてください。皆が経験した応援歌練習の成果が具現化されることを第一の喜びと考えます。